

平成23年9月15日

(財)日本卓球協会 御中

茨城県卓球連盟理事長 川田 進
岩手県・宮城県・福島県・茨城県・4県交流震災復興<絆>卓球大会ご報告

*交流試合について(9月10日(土) PM2:00~PM6:00)

試合方法は、限られた時間内で多くの試合が行えるよう、下記のようにした。

1. 種目毎 各県3名×4県 12名の班を2班編成しリーグ戦とした
2. 同県同士の対戦は行わない
3. 時間の都合で全試合は実施出来ないのでは試合途中でも止める
・参考記録を、P2~P13に添付します。

*実技指導・講習会について(9月11日(日) AM9:30~AM12:00)

講師：前原 正浩 (財)日本卓球協会専務理事

(S56全日本選手権 シングルス優勝)

アシスタント：古市 智子 (財)日本卓球協会復興支援リーダー

実技指導：高木和 卓(東京アート)(H22全日本選手権 シングルス 3位)
大矢 英俊(東京アート)(H21全日本選手権 シングルス ベスト8)
桑原 元希(リコー) (H21全日本学生 シングルスベスト16)
瀬山 辰雄(リコー) (H22全日本選手権 混合ダブルス 優勝)
野上沙矢佳(日立化成) (H19全日本学生 シングルス 3位)
野中 由紀(日立化成) (H20全日本社会人 シングルス 6位)
市川 梓 (日立化成) (H22全国総体 シングルス ベスト8)
原 陽子(日立化成) (H19全日本学生 ダブルス 2位)

今回の4県交流・震災復興<絆>卓球大会の出場者は、小・中・高校生でこれからの日本卓球界を背負って行く年代の方達です。

選手たちは前日の交流試合の疲れも見せず、前原講師の指導で講習会がスタート。ウォーミングアップ(ランニング、体のほぐし方)、基本練習(フォア、バック、他)等を、実技指導の各選手の素晴らしい技術を見ながら、進められました。

中でも、バックハンドドライブの重要性と、その技術習得の練習方法、カット技術の練習指導とアドバイス、フットワークの大切さとその練習方法等、選手たちは勿論、引率の責任者(コーチ、先生)の方々も大いに勉強になったと思います。

最後は、高木和選手、大矢選手の模範試合を全員で観戦、応援し、レベルの高さを実感、大いに盛り上がりました。2時間30分がとても短く感じられました。

この交流大会に出場した選手達の今後の「飛躍」を期待し、前原講師始め、古市氏、実技指導選手の熱心な指導により大変有意義な講習会となりました。

以上